

浜松 トークライブ 野党各党参加



野党各党がそろって答える「人権を大切に 憲法を守ろう 市民と野党のトークライブ」が4日、浜松市で初めて行われました。主催は「市民連合はままつ」。野党との共同を市民の側からつくっていかうと、多くの人が通るJR浜松駅前で開催。立ち止まっ

て聞く姿も多くあり、100人が聞き入りました。日本共産党の島津幸広前衆院議員、立憲民主党の日吉雄太衆院議員、民進党の小山展弘前衆院議員、自由党の野末修治・静岡7区支部長が参加しました。司会者が安倍9条改憲、北朝鮮問題、経済政策など質問し、各党が答えました。

改憲問題では、『憲法は新しい方がいいのでは?』という声があるが」と質問。

島津氏は「国民から改憲が必要だ」という声があがっていない。悪いところもないのに手術をするようなもの。安倍9条改憲は絶対に許さない。」

日吉氏は「臨時国会を開かずして解散する。こうした憲法違反を規制することはやってもいいと思うが、9条の改憲は必要ない。」

小山氏は「自衛隊は裁判所で合憲だと判例が出ている。加憲する必要がない。米国と一緒に戦争するための加憲はダメ。」

野末氏は「米国の戦争のために日本の自衛隊を最前線に行かせようという改憲。これは日本のための政治ではない」と、それぞれ語りました。

藤枝市議選2議席必ず 武田氏



ただた良介参院議員は、3日、来月15日に告示される(22日投票)静岡県藤枝市議選の勝利をめざす演説会に参加し、「市議選勝利で、安倍内閣

の残業代ゼロ制度の撤回や9条改憲を阻止しよう」と訴えました。

市議選は定数22、現職の大石のおお、石井みちはるの両氏が現有2議席確保を目指します。

両氏は市の財政調整基金を使い、国保税の1世帯1万円引き下げや住宅・商店リフォーム助成制度の実現、30キロ圏内にある浜岡原発の再稼働を許さないたたかいを他党派とも共同して進めると決意を述べました。

演説会後、若者のつどいも行いました。



3月19日(月)ブロックいっせい宣伝を成功させよう

楽しく元気の出る支部会議の開催を軸に「集い」を繰り返し開き、40代を党に迎える

愛知県知多地区の武豊支部で40代の女性Bさんを党に迎えました。

支部では3つの班に分かれて会議を開き、女性班ではいつもコーヒーとお菓子をみんなで持ち寄って、楽しく元気の出る会議を開いています。

3中総を討議する中で、「集い」の開催を決めたところ、Aさんが「娘(Bさん)が北朝鮮問題を報道するテレビを見ていて、『社会主義ってなんなの?』と聞いてきた」と話しました。

さっそく集いにBさんを誘って長友地区委員長に社会主義について語ってもらい、入党を呼びかけました。その日は入党には至りませんでした。おもしろかった」と話してくれたので、2月末に2回目を開催。Bさんは「社会の土台は人間の経済生活にあるというのはよくわかった」と感想を語りました。

支部員が入党を訴えると「子育て中でいつも一人でモヤモヤしていたから、こういうところに来るのはいいですね」と入党してくれました。

主催者の共同代表の矢部洋氏(医師)は、「安倍政権に代わる受け皿をつくらなくてはいけない。野党と連帯を強め、信頼関係を強め、早く受け皿を作っていこう」と力説しました。

「共産党に怖いイメージ」各政党に対する疑問で、共産党には「怖いイメージもある。名前をかえたら?」と質問。島津氏は「日本の侵略戦争に命がけで反対してきたことなど自信を持って党を語り、党の歴史と名前を理解してもらおうよう努力していきたい」と答えました。司会者が「一番歴史のある党ですね。『共産党(怖くないよ)』という党名にすればいいかもしれないですね」と応じ、聴衆から笑いが起きました。

「正しいことを追求する党」

他の党・個人の紹介で、日吉氏が共産党について、「政治不信が騒がれるなかでまじめにやる。正しいことを追求する党だ」と述べました。島津氏は、小山氏と自由党について、「小山氏は安保法制廃止と野党共闘に熱心だ」、「自由党は、共産党大会に党首が来てあいさつするなど野党共闘を進める立場で感服している」と語りました。

リレートークでは、三上元(はじめ)前湖西市長が原発ゼロへ自民系保守も含め幅広い共同をめぐらそうと強調。